

自動車整備職種における外国人技能実習に関する訪問調査報告について

1. 調査対象

① 監理団体

技能実習法に基づく許可の申請を行っており、かつ、自動車整備職種の外国人技能実習生の受入れを行っている監理団体のうち、以下ア.～エ. に該当する監理団体。

ア. 協議会参加団体である

イ. 技能実習2号を受入れている監理団体

ウ. 女性技能実習生を受入れている監理団体

エ. 電話ヒアリング・メール調査に対し、積極的に回答いただいた監理団体

② 実習実施者（自動車整備工場）

①の監理団体と契約している実習実施者。

※ 現地調査の対象とする実習実施者は、認証工場（道路運送車両法第78条にある地方運輸局長から認証を受けた事業者が経営する事業場）又は指定工場（道路運送車両法第94条の2にある地方運輸局長から指定を受けた事業者が経営する事業場）とし、可能な限り、自動車ディーラー、専業整備工場、兼業整備工場を網羅する。この条件を満たすために必要と認める場合には、①にかかわらず調査対象の監理団体を上位5団体以外から選定することができる。

③ 技能実習生

②の実習実施者の元で従事している全ての技能実習生。

2. 現地調査先候補

電話ヒアリング・メール調査の結果から、1. の条件を満たす以下5つの監理団体を候補としたい。

	団体名 (拠点)	許可 区分	実習実施者 (事業形態)	主な実習 実施地域	技能実 習生数	受入国	選定 理由
1	監理団体 A	一般	指定 (カー用品店)	東京 他	153名	フィリピン	1.①ア.
2	監理団体 B	一般	指定 (ディーラー)	広島 他	219名	フィリピン	1.①ア.
3	監理団体 C	一般	指定 (兼業)	富山	4名	ベトナム	1.①イ.
4	監理団体 D	一般	認証 (ガソリン・スタンド)	千葉	11名	モンゴル、ベトナム	1.①ウ.
5	監理団体 E	一般	指定 (兼業)	福岡	2名	ベトナム	1.①エ.

3. 調査の実施

① 監理団体

2. で示した監理団体に対してアポイントをとり、訪問ヒアリング調査を実施した。実施日は次のとおりである。

	監理団体名	調査実施日
1	監理団体A	平成31年2月13日(水)
2	監理団体B	平成31年2月21日(木)
3	監理団体C	平成31年2月14日(木)
4	監理団体D	平成31年2月12日(火)
5	監理団体E	平成31年2月20日(水)

② 実習実施者(自動車整備工場)

①の監理団体と契約している実習実施者の中から、1社を選び、訪問ヒアリング調査を実施した。対象となる実習実施者の従事場所と実施日は次のとおりである。

	監理団体名	実習実施者の従事場所	調査実施日
1	監理団体A	東京都	平成31年2月15日(金)
2	監理団体B	広島県	平成31年2月21日(木)
3	監理団体C	富山県	平成31年2月14日(木)
4	監理団体D	千葉県	平成31年2月13日(水)
5	監理団体E	福岡県	平成31年2月19日(火)

③ 技能実習生

②の実習実施者の元で従事している技能実習生に対し、訪問ヒアリング調査を実施した。実習実施者の属性と実施日は次のとおりである。

	監理団体名 (拠点)	実習実施者の属性 ①国籍②実習年数	面談人数	調査実施日
1	監理団体A	①フィリピン人 ②2年目	2名	平成31年2月15日(金)
2	監理団体B	①フィリピン人 ②1~3年目	1年目:1名 3年目:2名	平成31年2月21日(木)
3	監理団体C	①ベトナム人 ②3年目	1名	平成31年2月14日(木)
4	監理団体D	①ベトナム人(女性) ②1年目	1名	平成31年2月13日(水)
5	監理団体E	①ベトナム人 ②1年目	4名	平成31年2月19日(火)

4. 調査結果（概要）

① 監理団体

監理団体への訪問ヒアリングの結果は次のとおりである。

1) 実習実施者からの相談の頻度

- ・概ね月に1回程度。相談と言うよりは連絡に近い。(3件)
- ・月に2回程度。
- ・多くても月に2・3回程度。他の職種と比較して、自動車整備は相談が少ない。

2) 実習実施者からの相談内容

- ・日本語をどのように教えればよいかが中心で、実習そのものに関する相談はあまりない。
- ・人事異動などによる実習実施者の担当者変更等の報告
- ・実習生の体調不良などの相談
- ・主にベトナム語の通訳・翻訳依頼の相談がある。現場でのレクチャー・注意事項や、病気などについての内容がある。
- ・生活面では、特にゴミ出し方法の周知をしている。
- ・電気代の相談があった。エアコンを24時間つけっぱなしにしているようなので、節約するように伝えてほしいとの相談があった。
- ・仕事をしている中で、暗くなっている実習生などがいたら、大丈夫か確認してほしいという相談もある。
- ・書類、手続き上のことは申請担当に相談が来る。

3) 技能実習生からの相談の頻度

- ・月に1回、巡回で訪れた際に相談を受けることがある。(3件)
- ・月に2回程度。
- ・あまり相談はない。

4) 技能実習生からの相談内容

- ・現地家族の様子を見たく、一時帰国のための休暇をとりたい。
- ・日本語の勉強方法を教えてほしい。
- ・生活面の相談がある程度で、仕事面の相談はあまりない。
- ・空調関係の相談がある。
- ・残業をもっとしたいという相談がある。
- ・指導する人間がやさしいか、厳しいか、お客さんの量が多い、少ない、転勤させてほしいという声もある。
- ・工場内が寒い(特にベトナム人実習生)、日本人社員の言葉が理解できない、工場長の指導がきびしいので、転勤したい、残業が少ない(モンゴル人実習生)等の相談がある。

- ・寮の備品など、何かが壊れたときなどは、監理団体に相談がくる。

5) 実習実施者とトラブル

- ・ない（5件）

6) 実習実施者とのトラブルの内容/解決方法

- ・実習実施者とトラブルがあった監理団体はなかった。

7) 技能実習生とトラブル

- ・ある（1件）
- ・ない（4件）

8) 技能実習生とのトラブルの内容/解決方法

（トラブルの内容）

- ・残業がなかったときは帰りたいという話があった。

（解決方法）

- ・給料を上げて、ボーナスも査定して対応した。ある程度戦力にならないと査定の対象にもならないと話している。最後は社長の判断で給料を上げた。

9) 技能実習計画の進捗確認

- ・監査・巡回の際に、予定計画の履行状況に係る管理簿、技能実習日誌運転計画の報告、業務日誌等で確認している。（5件）
- ・監査・巡回で仕事の状況について実習生からヒアリングをしている。（5件）
- ・暇などときに他の作業の教育もお願いしている。ヒアリングするときも、どんな仕事をしているか、新しく覚えた仕事は何かを聞くようにしている。
- ・実地での指導員からの聞き取り調査。（2件）
- ・実習生に普段行っている実習に関して予定表と齟齬がないか聞き取り調査。
- ・半年ごとに回収するようなチェックリストでも作成してもらえれば、良いと思う。

10) 技能実習として実施してよいか判断が難しい事例

- ・ある：2件
- ・ない：3件

11) 具体的な判断が難しい事例の内容

- ・駐車場の掃除を実習に入れてよいのか。ピット（職場）と面している駐車場もあれば、離れている駐車場もある。どこまでを実習としてよいのか、判断が難しい。お客さんがくるところをきれいにするというのは大事なことなので、伝えるべきだと考えている。
- ・自動車整備作業に関連して整備依頼者（顧客）から直接の当該整備以外の相談を直接2号実習生が受けることがある。その場合、内容的には「接客」に該当し、齟齬が生じる恐れがあるので、注意している。
- ・作業終了後の就業時間内であるにも係わらず、日本人社員が掃除しているとき、実習生は傍観しているので、気まずいことがある。

12) 「自動車整備技能実習ガイドライン」の確認状況

- ・確認している：5件
- ・確認していない：0件

13) 「自動車整備技能実習ガイドライン」を確認していない理由

- ・「自動車整備技能実習ガイドライン」を確認していない監理団体はなかった。

14) 「自動車整備技能実習ガイドライン」の実習実施者への周知

- ・している：5件
- ・していない：0件

15) 「自動車整備技能実習ガイドライン」を実習実施者に周知していない理由

- ・「自動車整備技能実習ガイドライン」を実習実施者へ周知していない監理団体はなかった。

16) 「自動車整備技能実習ガイドライン」の技能実習生への周知

- ・している：2件
- ・していない：3件

17) 「自動車整備技能実習ガイドライン」を技能実習生に周知していない理由

- ・内容を理解するのは難しい。自分に関係する箇所がどこかも分からないかもしれない。且本語だけなので、渡しても分からないし、説明しても分からないと思う。（3件）

18) 「自動車整備技能実習ガイドライン」についての意見

- ・別途説明会を開催いただければよいと思う。特に現場の実習実施者にはいい勉強になると思う。
- ・実習生用に母国語で作成していただきたい。
- ・所定の講習テキストも日本語であり、実習生の日本語レベルでは大変難しい。

- ・母国語対応が難しい場合は、ルビをふっていただきたい。
- ・全体的に「望ましい」という表現よりは、「～すべき」と書いてしまってよい。
- ・P3に「ブレーキの効きが十分であること」とあるが、トラックを扱っているような現場では、技能実習生がトラックを扱ったり、機械の制動装置でブレーキ試験を行ったりすることは難しいと思われる。注釈を入れてもいいと思う。
- ・P11の関連業務で「ナビ・ETC等の電装品の取付作業」とあるが、電装関係は特に配線を注意しないと、プラス、マイナスをつなぎ間違えると、火事にもつながりかねないので、注意が必要。実習生がそこまで認識してできるとは思えない。電装まわりの作業をするときは、配線図を見ながら作業するので、理解しながらの作業が難しい。
- ・P26に技能実習生専用の工具を購入した場合の費用負担があるが、実習生用の工具であっても、実習生には負担させず、全て実習実施者負担で良いと考える。
- ・P29に「技能実習に自動車の運転を行わせることを禁止することが望ましい」とあるが、あまいまいになるので禁止とした方がいい。
- ・P44のQ1に「高度な技術を要する」とあるが、具体的な作業内容が不明である。作業内容によっては、「実施しても構いません」と言えない作業もあると思う。一般作業と高度な技術が伴う作業との違いは何かということが分からない。P18を見る限り、3級自動車整備士の内容をそのままひっばってきているように見える。初めて日本で自動車整備を実施する人への内容とは思えない。ステアリングやサスペンション1つとっても、1つだけで作動するわけではなく、複数の部品が連動して動くわけで、一概には言えない。
- ・P44のQ5について、不具合の説明を実習生にさせるかどうかだが、誤解をまねく可能性が高く、責任者が行うべきであると考える。大型トラックや普通乗用車等で、それぞれの工場の役割があると思うが、現場で作業している人にお客様が直接たずねてくることがあるが、お客様の立場では自分の車を整備した人に直接聞くのが一番分かりやすいから来るわけだが、実際はその中間の人がいて、基本的な技術と接客マナーを身につけて、最終的には不具合を見つけて、負担する金額を算出する教育を受けた人がいる。実習生が発見した場合は、そういう教育を受けた人に委ねるのがいいと思う。専門的な言葉も言わないといけないし、あとの責任も取れない。

19) 「特定技能」の登録支援機関として対応可能となった場合の活用予定

- ・ある：4件
- ・ない：0件
- ・保留：1件

20) 活用する予定がある理由

- ・関連企業が登録支援機関になれないか検討している。
- ・法改正前の技能実習生はもともと送り出し側と3年間と決めているので、3号となるとまた1からやりとりが必要になると認識している。
- ・自動車整備のスペシャリストを育成したい。(出来れば検査員まで)

- ・興味を持っている。活用に関して現在検討中である。
- ・まだはっきりしないことが多く、監理団体も分かってない状況なので、実習実施者に説明もできない状況ではあるが、登録支援機関としての資格は取ろうと思っている。
- ・特定技能は専門の部署を設置できる大企業向けの制度だと思う。中小企業では対応が難しいので、監理団体が監理しないと難しいと考えている。
- ・特定技能制度における登録支援機関は、詳細の内容が不明なので、現時点では回答保留である。技能実習制度の「需給の調整として不可」との位置づけと、「人手不足対策」の特定技能制度との制度上の相違があるので、詳細の発表を待って検討する。
- ・まだ漠然としていて、よくわからないところもあるが、取扱いについての拡大は今後していきたい。技能実習も途絶えることはないと思うが、特定技能に直接いきたいというニーズも出てくると思うので、そういうニーズは取り込んでいきたい。本人の希望があり、企業側も了承すれば、可能性はある。

21) 活用する予定がない理由

- ・ -

(ここからは「技能実習二号技能実習生」と契約している場合のみ回答)

22) 実習実施者から相談

- ・ある：2件
- ・ない：2件

23) 相談の頻度と内容

(頻度)

- ・月に1回程度。
- ・年に数回程度。

(内容)

- ・相談内容は、技能実習1号とあまり変わることはない。
- ・実習生の健康状態や怪我などをした場合の連絡。
- ・日本語能力にばらつきがあり、その対応先が必要。
- ・2号卒業時の実習生の進路相談などがある。

24) 技能実習生(二号)からの相談

- ・ある：2件
- ・ない：2件

25) 相談の頻度と内容

(頻度)

- ・月に1回程度。
- ・年に数回程度。

(内容)

- ・生活面の相談。
- ・賃金、処遇に対する不満、もっと賃金が欲しいという相談はある。
- ・2号卒業時の実習生の進路相談などがある。

26) 技能実習二号技能実習生ならではの悩み

- ・1号、2号で特に変わることはない。1号になってからさらに努力する実習生と、仕事はある程度覚えれば、あとは適当に稼げるからいいという実習生の2種類に分かれる。
- ・日本の生活に慣れてくることで、日常生活において気の緩みを感じることもある。(所持品の盗難防止に対する意識など)
- ・日本の生活、日本国内の同国の知り合いも増えてくるので、好ましくない知り合いとの付き合いなども見受けられることもある。
- ・日本語も、生活も、実習も慣れており、そのため安心できる面もあるものの、心配する面もある。このあたりは個人差、性格上の問題である、と認識している。

(ここからは女性と契約している場合のみ回答)

27) 実習実施者からの相談

- ・ある：2件
- ・ない：0件

28) 相談の頻度と内容

(頻度)

- ・これまでに数回程度あった。
- ・月に1回程度。

(内容)

- ・更衣室が男性仕様になっていて、問題があると感じている。
- ・通訳依頼が中心。

29) 技能実習生（女性）からの相談

- ・ある：2件
- ・ない：0件

30) 相談の頻度と内容

(頻度)

- ・ これまでに数回程度
- ・ 当組合ベトナム人通訳に電話、メール連絡がある。

(内容)

- ・ 女性は洗車・コーティングから入っている。次はタイヤ交換、オイル交換をしたいといっている。いきなり力仕事をまかせて大丈夫かということと、女性の方がきめ細かい、丁寧な作業をするという期待があった。今の人はパワフルで、タイヤ交換もフィリピンでやっていた。
- ・ 工場が寒い、手が荒れる、などの健康面の相談。
- ・ 日本人社員との言葉、働き方の相違による不満。

31) 「女性の技能実習生」と契約するにあたり、特に注意している事項

- ・ 特にはない。男性と同じように契約している。
- ・ 男女とも同一の技能実習計画である。ただ、現場の社員は工場が明るく、活気が出ると思っているものの、必要以上に気遣っている面もある。
- ・ 女性の住まいはオーナーのアパートで、1人1部屋与えている。

32) 女性ならではの悩み

- ・ 特にはない。日本人も女性がいるので、職場環境としても問題はない。
- ・ 当組合は、女性のベトナム人スタッフが常駐しており、夜間の電話相談、メールでの対応を実施している。
- ・ 日本語の勉強はよくやっているが、技術者としてはどこまでできるか心配はある。

33) 「女性の技能実習生」は、実習実施者からの要望で受入れたか

- ・ 送り出し側からの提案で女性を受け入れた。いくつかの実習実施者に打診し、ある実習実施者からテストでやってみましょうと回答があった。
- ・ 男性はホームシックになる人が多いが、女性は少ないので、どうかという提案だった。男性は聞き飽きるくらいホームシックになっている。
- ・ 実習実施者からの要望に基づく対応をした。女性を受け入れることに反対意見もあった。

② 実習実施者

実習実施者への訪問ヒアリングの結果は次のとおりである。

1) 外国人技能実習生の主な従事作業

1.原動機の整備作業	4
2.制動装置の整備作業	5
3.走行装置に整備作業	4
4.動力伝達装置の整備作業	3
5.電気装置の整備作業	3
6.板金	0
7.塗装	2
8.タイヤ交換やオイル交換などの軽作業	5
9.定期点検	4
10.受入点検	1
11.日常点検	4
12.車検	5
13.その他	2

2) 監理団体への相談の頻度

- ・月に1回程度。
- ・月に2, 3回程度。(3件)
- ・それほど相談はしていない。

3) 監理団体への相談内容

- ・技能実習生から休みを取得したいとの要望があったので、監理団体にも相談した。
- ・寮は条件が異なるので、寮費をどのように調整するか、監理団体にも相談した。
- ・作業の指導方法について相談する。ミスがあった際の指導の通訳をお願いしている。
- ・生活面の相談が多い。(2件)
- ・寮の備品のことや、社内の行事(ボーリング大会等)に連れて行ってもいいかなどの確認をとることがある。
- ・指導に関する相談もある。安全面を優先させたいが、せっかちな技能実習生もいるので、早く作業をしたい、新しいことを経験したいという思いと、安全面とのバランスが難しい。このあたりをどのように理解してもらうかを相談する。

4) 技能実習生からの相談の頻度

- ・それほど相談はない。(3件)
- ・月に1回程度。

- ・技術的なことは頻繁にある。

5) 技能実習生からの相談内容

- ・技術面では頻繁に相談を受けている。
- ・生活面ではそれほどないが、この前休みの取得のことで相談があった。
- ・寮の備品が壊れたときや、前の技能実習生が残していったものを捨てたいときに相談があった。
- ・給料の控除の内容が分からないとの相談もある。残業が1か月遅れで入ることも理解していなかった。残業をしたがる技能実習生は多い。
- ・日本語の勉強と生活全般に関する相談が多い。日本語学校は自費だが、検定に受かると報奨金を出している。日本語に限らず、やる気やスキルで明らかに劣る人材は、帰らせることができるような制度にすべき。
- ・4人いる実習生は、先発組2人、後発組2人に分かれるが、後発は先発に頼ることが多い。ただ、先発でもまだ半年程度なので、作業を完全に理解しているとは言えず、直接スタッフに聞くように言い聞かせている。機械の使い方など、アドバイスくらいなら先発組に聞いてもいいと思うが、作業は直接日本人のスタッフに聞くことにしている。

6) 監理団体とのトラブル

- ・ない（5件）

7) 監理団体とのトラブルの内容／解決方法

- ・監理団体とのトラブルはどの実習実施者もなかった。

8) 技能実習生とのトラブル

- ・ない（5件）

9) 技能実習生とのトラブルの内容／解決方法

- ・技能実習生とのトラブルはどの実習実施者もなかった。

10) 技能実習生に自動車整備を教えるにあたり、最も注意・配慮する内容

- ・日本語を話せるようになることが重要なので、店内放送などをさせている。
- ・ダブルチェックは必ず行っている。
- ・一人に任せて大丈夫ということもあれば、最後まで見守りながら任せることもある。
- ・まずは怪我や事故がないように安全第一を心がけている。その次に正確な作業をするためにはどうするかを教えている。それができるようになってから、作業の効率化、スピードアップを目指している。

- ・オイルドレインやタイヤまし締め等、最後の確認作業は確実にやっている。また、口頭確認ではなく、実際にやってみせることを徹底している。
- ・安全第一を心がけている。車庫入れのときに誘導はさせている。運転手の見えるところに立てとか、大声でいうところを徹底させている。構内の運転はさせていない。車をジャッキアップするときは下に入るなどか、機械工具を使うときの保護具の着用をさせるといった安全面は徹底している。そういうものを使っていないと労災も下りない可能性がある。
- ・標準語で習っているのに、方言に戸惑うことがある。力が強い子がいて、「締めて」というと力いっぱい締めようとする。力加減が分からないところがある。絶対に壊してはいけないときはトルクレンチを使う。絶対にトルクレンチを使わないといけないところは分かっている。

1 1) 技能実習生の自動車整備の上達具合

- ・作業は現場に任せているが、慣れてきたこともあって自分で判断できることも増えてきている。また、日本語は徐々に上達している。
- ・技能実習計画範囲内において2号を踏まえた範囲まで実施。
- ・上達は人によって違う。
- ・車検なので、タイヤとるところから一連の流れは全部できる。
- ・バスの車研は作業がほぼ一緒に、同じことを毎日繰り返しやることになるので、覚えが早い。
- ・足まわりやオイルまわり等は1年でできる。エンジンまわりは上のものと一緒にやっている。
- ・下手をすると日本人より覚えるスピードは速く、やる気が高い。
- ・日本人は雑務がいっぱいあるが、実習生は作業のみなので、場数は多い。
- ・車検整備は主戦力となっており、日本人も抜かれている人がいる。
- ・作業指示書の実施のチェックはさせている。
- ・1年で日常点検はできるようになる。2年目以降で、車検点検、分解整備が可能になっている。
- ・最初は一通り見せて、実際にやらせてみるということをしていたが、今は一人で行っている。車検全体を通して一式で実施することはまだ無理だが、ブレーキだけをさせるなど特定の作業であれば3か月目くらいで任せられるようになる。2か月くらいは同じことを繰り返しやらせていた。ブレーキ関係は絶対にある仕事だが、電気関係等のあまり機会がない作業はまとめて見せている。

1 2) 技能実習生の日本語の上達具合

- ・N5に合格した技能実習生が3人いる。試験に受からなくても話すことは全く問題ない技能実習生もいる。
- ・仕事上のコミュニケーションは問題なく取れている。(2件)

- ・英語やタガログ語は使わないようにしている。
- ・日常会話ができるようになってきているが、理解しているかは分からない。入国してからの期間でかなり違う。
- ・ここにいる3人は全員N4を取得している。
- ・送り出し機関の教育の度合いでかなり違う。
- ・2号の方は普通の指示は理解をしてもらっている。オイル交換をしてくれといえはすぐにできる。
- ・日常会話はときどき分かりにくいときがある。
- ・ベトナム人はヒアリング力はいいが、話す方が難しい。
- ・漢字は読めない。
- ・1年でN5～N4を取得させている。日常会話はできている。2年目以降、実習生からの質問が増えてくる。
- ・まだまだだと思っている。仕事面も全体の半分以下しか覚えていないくらいだと思う。機械工具の名称はだいたいわかるようになった。仕事は見様見真似で覚えている。
- ・弁当を食べるときも、野菜の名前も分かっていない。
- ・日本語検定を受ける予定で、N4以上を受けることになっている。
- ・監理団体の通訳、スタッフが検定のテキストを配ることもあるが、スマホのユーチューブで覚えたりしている。日本語検定の言葉が載っているアプリがある。

13) 技能実習計画との進捗確認

- ・技能実習日誌で確認している。(3件)
- ・「できる」、「できない」の判断は正直難しい。「実施した」=「できる」、「実施していない」=「できない」の判断になっている。(2件)
- ・1年目から3年目まである計画の中で、全て計画どおりかと言えば、必ずしもそうではないかもしれない。
- ・実習計画の項目は、足まわりやオイル交換にしてみても、動力伝達装置も含むので、技能実習の内容的として制動装置、走行装置、動力伝達装置のうち、どこまで含んでいるかが分からない。
- ・車検をやれば車全体をみるので網羅しているとは認識しているが、ステアリング装置はどこまでやらないといけないとか、具体的に書かれていないので、計画に沿っているかと聞かれれば、疑問が残る。
- ・1号に対しても、2号で実施する項目も教えている。やってできればその人のためにもなる。特に1号だからこれだけということはこだわっていない。
- ・監査のときに確認している。細々したところは個人差もあると思う。
- ・作業日誌をつけているが、やった項目だけなので、どこまで上達したかまでは分からない。フォーマットが簡素になったので、細かいところまでの把握が難しい。
- ・現場によって「できる」の基準も違う。教える人がどこまでOKと判断するかなど、統一は難しい。初級、専門級の資格試験が判定の基準になる。

14) 定期的に技能実習計画の内容と技能実習内容との整合性の確認をとっているか

- ・とっている：5件
- ・とっていない：0件

15) 整合性の確認をとっていない理由

- ・確認は取っているものの、技能実習日誌だけでどこまで確認できるかは疑問が残る。

16) 「自動車整備技能実習ガイドライン」の内容確認

- ・確認している：5件
- ・確認していない：0件

17) 「自動車整備技能実習ガイドライン」を確認していない理由

- ・「自動車整備技能実習ガイドライン」を確認していない実習実施者はなかった。

18) 「自動車整備技能実習ガイドライン」の技能実習生への周知

- ・周知している：2件
- ・周知していない：3件

19) 技能実習生へ周知していない理由

- ・ステップアップに関するところなどは口頭で伝えている。
- ・漢字が読めない。

20) 「自動車整備技能実習ガイドライン」への意見

- ・内容が細かすぎる。子ども向けの絵本くらいの内容でちょうどいい。(3件)
- ・現場には文字が嫌いな人もおり、今の内容だとおそらく読まない人が多い。
- ・社員や技能実習生のスキルを○、×でチェックできるチェックシートがあればいいと思う。
- ・グランドルールとしてはこれでいいと思うので、もう少しローカルルールを取り入れられればいいと思う。
- ・トラック、バス、乗用車の違いを載せてほしい。働く現場によって作業内容が全然違う。
- ・塗塗装で有機溶剤を使用する場合、技能実習生が有機溶剤資格を有していないとだめなのか。・教材の抜粋が多いので、内容が難しい。写真やフローチャートを増やすなど、もう少し分かりやすく、ポイントを絞った方がいい。
- ・技能実習生にも説明したいと思っているが、専門用語が多いのでどこまで理解できているのか不安要素もある。とてもよい内容であるので、今は無理でも、ひらがなでルビをふる等、実習生目線でのマニュアル作りをお願いしたい。

2 1) 「特定技能」の活用予定

- ・活用予定がある：4件
- ・活用予定はない：0件
- ・分からない：1件

2 2) 「特定技能」を活用する予定がある理由

- ・現場は3年で帰るイメージではあるが、日本語も仕事ができるのであれば延長してもいいと考えている。
- ・現実的な問題として、日本人が集まらず、フィリピンから来てもらっている実情があるが、外国人技能実習は社宅代や電気代等のコストがかかる。
- ・特定技能1号になったときに法人会社を選べるようだが、大量に来られても困る。
- ・技能実習制度からの移転は、本人の希望と現場の思いが合致したら考える。
- ・技能実習制度よりも、整備工場と外国人の双方のニーズがマッチしていると思われる。
- ・できるだけ長く残ってもらいたいという思いはある。
- ・とりあえず技能実習の3号でいって、2年後、落ち着いてから移行してもいいと思っている。
- ・技能実習の制約は現場の実情と合わないところもある。制約がなくなるのはいいことだと思う。
- ・特定技能でも技術は修得できると思う。
- ・整備技術も日本語能力も、3年が経過すると一番脂がのる時期であり、これから戦力となる時期に帰国してしまうのはもったいない。
- ・来日して半年しかたっていないので、まだ分からないが、10年くらい働きたいといっている実習生が多い。本人が望めば、いてもらってもいい。通訳など教える側になってもらえることはいいことだと思う。

2 3) 「特定技能」を活用する予定はない理由

- ・現場は3年で帰るイメージではあるが、日本語も仕事ができるのであれば延長してもいいと考えている。

(ここからは「技能実習二号技能実習生」と契約している場合のみ回答)

2 4) 「技能実習二号技能実習生」からの相談

- ・ある：1件
- ・ない：3件

2 5) 「技能実習二号技能実習生」からの相談の頻度と内容

(頻度)

- ・月に1回程度

(内容)

- ・残業をしたいという内容が多い。

26) 「技能実習二号技能実習生」ならではの悩み

- ・慣れてくるとだらける傾向はある。当初は残業して働きたいといていたが、1年くらいすると蓄えもできて、休みの方をほしがる傾向がある。
- ・慣れてくると、残業してお金を稼ぎたい、もっと働きたいという思いが強くなる。整備の受注が無ければ彼らの仕事はないので、希望に応えることができない。

27) 「技能実習二号技能実習生」の自動車整備の上達具合

- ・個人差が出てくる。
- ・下手をすると日本人より覚えるスピードは速く、やる気が高い。(11)の再掲)
- ・日本人は雑務がいっぱいあるが、実習生は作業のみなので、場数は多い。(11)の再掲)
- ・車検整備は主戦力となっており、日本人も抜かれている人がいる。(11)の再掲)
- ・作業指示書の実施のチェックはさせている。(11)の再掲)
- ・車検点検、整備(分解)レベルに達している。

28) 「技能実習二号技能実習生」の日本語の上達具合

- ・個人差が出てくる。
- ・2号の方は普通の指示は理解をしてもらっている。オイル交換をしてくれといえはすぐにできる。(12)の再掲)
- ・日常会話はときどき分かりにくいときがある。(12)の再掲)
- ・ベトナム人はヒアリング力はいいが、話す方が難しい。(12)の再掲)
- ・漢字は読めない。(12)の再掲)
- ・N4レベルには達している。

29) 技能実習二号修了後の「特定技能」の活用予定

- ・ある：4件
- ・ない：0件

30) 「特定技能」の手続きの時期

- ・すぐに手続きを行う：3件
- ・技能実習三号修了まで待つ：1件

31) 技能実習二号修了後の「特定技能」を活用する予定がない理由

- ・—

(ここからは女性と契約している場合のみ回答)

32) 「女性の技能実習生」から相談

- ・ある：1件
- ・ない：0件

33) 「女性の技能実習生」からの相談の頻度と内容

(頻度)

- ・時々ある程度。

(内容)

- ・重いものは持てない。これは日本人の女性でも同じ。自分がやりたいと思ったことだから、トレーニングさせて努力させる。

34) 「女性の技能実習生」に技能実習を行うにあたり、特に注意している事項

- ・生活面で特に注意している。ただし、仕事においては性別で判断したり、区別したりしないようにする。何のために来たのか根気よく話している。整備だけではなく、日本語教育においても目標を与えている。
- ・パワハラへの気遣いは多少多くなる。結果的に洗車が多くなってしまいがちになることもある。
- ・女性は販売等も含めて向いていると思うこともある。
- ・向こうも男尊女卑の考えが残っており、男性は意思を持って働いているが、女性は働いていればいいと思うところがある。

35) 「女性の技能実習生」の受入れ経緯

- ・自らの要望：1件
- ・監理団体からの打診：1件

36) 女性ならではの悩み

- ・生活面では多少あると思う。女性の通訳がいるといい。仕事面では、女性だからと言って深刻な相談はない。

③ 技能実習生

技能実習生への訪問ヒアリングの結果は次のとおりである。

1) 外国人技能実習生の主な従事作業

1.原動機の整備作業	6
2.制動装置の整備作業	8
3.走行装置に整備作業	6
4.動力伝達装置の整備作業	5
5.電気装置の整備作業	5
6.板金	0
7.塗装	7
8.タイヤ交換やオイル交換などの軽作業	10
9.定期点検	4
10.受入点検	0
11.日常点検	5
12.車検	8
13.その他	6

2) 監理団体への相談の頻度

- ・ときどきある程度。(6件)
- ・月に1回程度。(2件)
- ・あまり相談はしない。

3) 監理団体への相談内容

- ・もっと残業がしたい。
- ・4月にフィリピンに帰りたい (一時帰国)。
- ・仕事と生活の両面で相談することがある。相談は駐在員にしている。
- ・仕事面は、交換の作業で専門的なことが難しい。間違ったときのやり直しのやり方を教えてもらう。
- ・生活面は、ベトナムの文化と日本の文化の違いで知りたいことを聞く。
- ・工場内が寒い。
- ・生活環境への質問や賃金明細の見方で相談がある。
- ・生活と仕事のことで、相談する。特に生活面が多い。食事のこともよく話す。肉を食べすぎないようになど。年末年始にどこに行くか等の相談もする。(4件)

4) 実習実施者への相談頻度

- ・それほど頻繁にはない。(2件)

- ・仕事面も含めれば、頻繁に（ほぼ毎日）相談している。（6件）

5) 実習実施者への相談内容

- ・仕事のこと、技術的なことは毎日相談している。（4件）
- ・空調（ヒーター）がほしいと相談したら、社長からもらった。
- ・仕事面ではオイル交換のときのダブルチェックをお願いしている。
- ・部品（交換部品）とやり方（修理方法）が分からないときや、部品がなくなったときに相談する。
- ・道具の正しい使い方を教えてもらう。
- ・指示が分からないときに聞く。

6) 監理団体とのトラブル

- ・ある：0件
- ・ない：11件

7) 監理団体とのトラブルの内容と解決方法

- ・監理団体とトラブルのあった技能実習生はいなかった。

8) 実習実施者とのトラブル

- ・ある：0件
- ・ない：11件

9) 実習実施者とのトラブルの内容と解決方法

- ・実習実施者とトラブルのあった技能実習生はいなかった。

10) 自動車整備は楽しいか

- ・楽しい：11件
- ・楽しくない：0件

11) 自動車整備が楽しい理由

- ・お客さんと話しているときが楽しい。
- ・新しい言葉を覚えるのが楽しい。
- ・バッテリー交換、タイヤ交換、オイル交換など、全ての作業が楽しい。
- ・修理した後にトラックが動いた時が楽しい。
- ・自動車の知識が増えていき、覚えることもたくさんあるので楽しい。
- ・ベトナムでやったことがないので、分からないことが分かるようになって楽しい。修理で

難しいことにチャレンジできるところが楽しい。

- ・お客さんと話せるのが楽しい。お客さんもスタッフさんもやさしい。タイヤ交換は難しいけど少し楽しい。タイヤは重いので、オイル交換がメインとなっている。
- ・今までしたことがない新しい部品の交換が楽しい。
- ・ブレーキ整備が楽しい。
- ・塗装、ホイール関係が楽しい。
- ・タイヤ交換が楽しい。

1 2) 自動車整備が楽しくない理由

- ・自動車整備が楽しくないと回答した技能実習生はいなかった。

1 3) 自動車整備の上達具合

- ・オイル交換、タイヤ交換は1人でもできる。ホイールバランスをとって作業することもできる。
- ・ホイールシリンダー、オーバーホール、ブレーキエキスパンダー交換、オイル交換、ライニング張替、ダイヤフラム交換、塗装前作業ができるようになった。
- ・ブレーキオーバーホール（車検時作業）、シャシ塗装、オイル交換、燃料エレメント交換ができるようになった。
- ・ライニング張替、オイル交換、ホイールシリンダー、オーバーホール、ダイヤフラム交換、ブレーキバルブ交換、ブレーキエキスパンダー交換ができるようになった。
- ・簡単なことや一度経験した作業はできるようになった。
- ・難しい作業はできないので、日本人の従業員と相談しながらやっている。
- ・日常点検はできる。ウォッシュ液、オイル、タイヤの交換ができるようになった。
- ・毎日仕事をしていて、だいぶ慣れた。時々しかない仕事はまだ難しい。
- ・整備は難しい。簡単な作業はできるようになった。車検作業はだいたいできる。考えながらする作業は難しい。
- ・毎日仕事をしていて、教えてもらったことはだいたいできる。
- ・与えられた仕事は教えてもらいながらできる。

1 4) 日本語の上達具合

- ・かなり話せるようになった。(N5に合格)
- ・少し話せるようになった。(N5は不合格)
- ・ときどき分からない言葉もあるが、先輩に聞きながら話せるようになった。漢字が難しいと感じる。(N4に合格)
- ・先輩の言っていることはだいたい理解できる。思ったことも伝えられる。(N4に合格)
- ・だいたい理解できるが、話すのはまだ少ししかできない。(N4に合格)
- ・段々慣れてきたが、あまり上手ではない。漢字が難しい。ひらがた、カタカタは読める。

- ・日本に来て半年だが N5 に合格した。
- ・仕事に必要な日本語は話せる。道具の名前は、50%くらいはわかる。スーパー等の買い物で困ることはない。
- ・買い物をしていて、ほしいものが伝わらないことはある。工作中的の会話は問題ない。駅員さんに教えてもらうこともできた。道具の名前は60%くらい覚えた。
- ・少し話せるようになった。工作中的の会話もだんだんできるようになってきた。道具の名前は50%くらい覚えた。
- ・日本語は難しい。道具の名前は30～40%くらい覚えた。生活での会話は問題ない。

15) 自動車整備で難しいところがあるか

- ・ある：11件
- ・ない：0件

16) 具体的な自動車整備で難しいところ

- ・バルブ交換で、スペースがせまいと手が入らない。
- ・タイヤ交換はタイヤが薄いと交換が難しい。
- ・ブレーキ調整は狭いので難しいが、慣れたので今はできる。
- ・タイヤは自分よりも大きいので難しいが、今は問題なくできる。
- ・初めて経験する作業は難しい。
- ・電気の修理が難しい。
- ・タイヤ交換は難しい。仕事の内容はビデオでみたイメージ通りだった。
- ・エンジン関係が難しい。(3件)
- ・ベルト交換は外す順番が難しい。
- ・ナットをしめるときにどれくらいしめればいいのか難しい。
- ・ブレーキが難しい

17) 実習実施者との定期的な技能実習計画の確認

- ・行っている：10件
- ・行っていない：1件

18) 日本の生活は楽しいか

- ・楽しい：11件
- ・楽しくない：0件

19) 日本の生活が楽しい理由

- ・仕事をして給料をもらえているので満足している。
- ・フィリピンの友達と富士山旅行に行った。

- ・日本人は優しいし、食べ物もおいしくて、きれい。ラーメンが好き。
- ・良いところがたくさんある。特に花見、紅葉、雪が降っていることが楽しい。
- ・日本で生活がだんだん慣れてきたので、面白くなった。
- ・まだ慣れていないが、スタッフと話していると少し楽しい。仕事ばかりであり出掛けないので、いやなことはない。
- ・日本語の勉強を部屋でやっていて、だんだん上手になるのが楽しい。先輩たちと服の買い物とかに行くことがある。
- ・買い物などが便利。店も近くにある。ショッピングモールにもタクシーで行った。電話でタクシーを呼ぶことができた。
- ・お祭り、交通安全祈願に行ったとき。
- ・日本人は親切な人が多い。
- ・住んでいるところがきれい。料理がおいしい。

20) 日本の生活が楽しくない理由

- ・日本の生活が楽しくないと回答した技能実習生はいなかった。

21) 「自動車整備技能実習ガイドライン」の内容確認

- ・確認している：7件（おそらく、口頭で説明したことを指しており、本人が理解しながら読んだということではないと思われる。）
- ・確認していない：4件

22) 「自動車整備技能実習ガイドライン」を確認していない理由

- ・漢字が難しく読めない。（3件）

23) 「自動車整備技能実習ガイドライン」に盛り込んでほしい内容

- ・ある：0件
- ・ない：11件

24) 「自動車整備技能実習ガイドライン」に盛り込んでほしい具体的な内容

- ・「自動車整備技能実習ガイドライン」に盛り込んでほしい具体的な内容を回答した技能実習生はいなかった。

25) 「自動車整備技能実習ガイドライン」に盛り込んでほしい内容がない理由

- ・内容が分からない。（6件）

26) 在留期間後（技能実習では最大で5年）の日本での従事意思

- ・働きたい：7件
- ・働きたくない：3件
- ・分からない：1件

27) 在留期間後も日本で働きたい理由と期間

（働きたい理由）

- ・フィリピンには自動車整備の仕事がないから。
- ・家族のために働きたい。家族に楽をさせたい。
- ・分からないことを習いたい。整備に関することをやりたい。自分のスキルを展開したい。
- ・ベトナムは今後、車が増える。もっと日本で整備の経験を積みたい。
- ・日本の技術や文化をもっと学びたい。
- ・技術の修得と日本語の勉強をもっとしたい。
- ・もっと整備の経験を積みたい。

（期間）

- ・ずっと働きたい。
- ・5年（2件）
- ・10年（4件）

28) 休日の過ごし方

- ・家にいることが多い。（2件）
- ・友達のアパートに遊びに行く。
- ・携帯ゲームをしている。時々教会に行く。日本語の勉強もしている。家にいることが多い。
- ・時々、教会に行って、時間があるときは日本語の勉強をしている。友達と遊びに行くこともある。家にいることが多い。
- ・よく休んで、日本語の勉強をしている。
- ・正月は出かけた。
- ・スーパーに買い物に行ったり、時々社長が温泉とかバーベキューに連れて行ってくれる。
- ・日本語の勉強と買い物。
- ・家族と電話。料理を作る。日本語の勉強。
- ・スーパーに買い物に行く。日本語の勉強、社長が温泉に連れて行ってくれる。

29) 日本語能力試験に興味はあるか

- ・興味がある：11件
- ・興味がない：0件

30) 日本語能力試験を受験したいと思うか

- ・思う：10件
- ・思わない：1件

31) 自動車整備士の資格に興味はあるか

- ・興味がある：10件
- ・興味がない：1件（女性）

32) 自動車整備士を受験したいと思うか

- ・思う：10件
- ・思わない：1件（女性）

33) SNS を活用しているか

- ・している：11件
- ・していない：0件

34) SNS で連絡を取っている相手

- ・家族：11件
- ・友達：11件
- ・監理団体：2件
- ・実習実施者：2件
- ・他の技能実習生：2件
- ・会社のスタッフ：1件

35) SNS で話す内容

- ・家族との近況報告（10件）
- ・友達との約束（2件）